



尚徳福祉会 日野保育園 2019年2月

寒さが増し、ようやく冬らしい季節を感じられるようになってきました。冷たい風にも負けず、戸外で身体を動かす子どもたちです。『子どもは風の子』の言葉の通り、上着も脱いで元気に遊び、頬を赤くしながら笑い声を響かせています。インフルエンザなどの感染症が増える時期ですが、風にも風邪にも負けず、元気にすごしていきたいと思います。



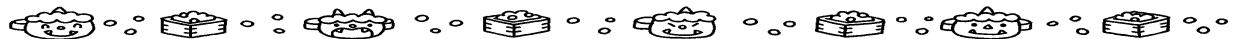
鬼は～外!!福は～内!!

2月3日の節分に向けて、『鬼』の制作やゲームをしました。まずは、模造紙に絵の具で自由にかいたもので帽子を作りました。そこに顔のパーツや角を切り貼りして作ると、鬼の完成!!大きなキバが生えている怖そうな鬼がいれば、作った子に似ている優しい顔の鬼がいたり、個性豊かな『鬼帽子』ができあがりました♪

そして、いよいよ迎えた『豆まき集会』では、「鬼を倒すぞ!!」と意気込む子と、物音がする度にドキドキとする子でいろいろな表情が見られました。迫力ある赤鬼と青鬼の姿が見えると、一気に気持ちが高まる子どもたち!!緊張したりちょっぴり涙を見せたりする子もいましたが、みんな勇気をふりしぼって(!?)鬼退治の豆まきをがんばっていました☆おなかの中の鬼も追い出し、よい春を迎えられそうです。

(おまけの話)

節分までに鬼が登場する昔話をいろいろと読みました。『鬼は怖くて悪いもの』と思っている子どもたちですが、『泣いた赤鬼』や『海にしずんだ鬼』を読んだ後は「優しい鬼もいるんだね…」としんみり。子どもたちの心の成長が見られた一場面でした。



こんな遊びにも挑戦☆

年明けから、こままわしに挑戦する子が増えたあさがお組。初めのうちは「先生、こまの紐をまいて～」と言っていた子たちも、両手で操るのが上手になっていき、自分で紐を巻いて投げて回すことができるようになってきました。

一人ができるようになると、刺激を受けたお友達が奮起!!園庭で、お部屋で夢中になって取り組んでいます。そして次々と聞こえる「やった-!!まわせたよー」「できるようになった～♪」の声。

『少し難しいことに挑戦し、できるようになった達成感』を味わっているあさがお組です。

そして、室内遊びではカルタやオセロにも挑戦中☆オセロでは、ひまわり組さんにルールや遊び方を教えてもらおうと、すぐに楽しさがわかり、いろいろな友達と対戦しています。保育者相手の勝負でも、時には子どもが勝つこともあるのです。(大人も手を抜かない真剣勝負!!) 機会がありましたら、ぜひおうちでお子さんと勝負してみてください☆

☆こどものつぶやき☆

◎節分を前にいろいろな『鬼』の制作をしました。作りながらいろいろな鬼話で盛り上がっていたので…

保育者「いま、鬼は何をしてるんだらうね？」

Aちゃん「ごはんを食べてるんじゃないかなあ」

Bくん「もりもり食べて、力つけてくるかも…」

その後、鬼と戦う武器をせっせと作るBくんとお友達でした♪